

## 高知リハビリテーション学院紀要 投稿規定

### 1. 内容

理学療法・作業療法・言語聴覚療法とその関連分野、および専門職の養成・教育に関する未発表のものに限る。

- 1) ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言」の精神に基づき、厚生労働省告示「臨床研究に関する倫理指針」に沿ったものであること。
- 2) 動物実験は、「動物実験の飼育および保管等に関する基準」等を遵守して行われたものであること。

### 2. 種類

総説、原著、報告、症例報告、短報等、紀要編集委員会が適当と認めたものとする。

### 3. 投稿資格

下記のいずれかに該当する者とする。

- 1) 本学院の職員
- 2) 本学院の卒業生
- 3) 本学院の職員と共同研究を行っている者
- 4) その他、編集委員会が適当と認めた者

### 4. 論文の採否・掲載について

- 1) 論文の採否は高知リハビリテーション学院紀要編集委員会で決定する。
- 2) 審査の結果によっては、修正・削除・加筆などを進言することがある。

### 5. 投稿要領

- 1) 総説、原著、報告および症例報告は要旨、図表、文献などを含め、原則として刷り上り10頁（1頁は400字詰原稿用紙3枚相当）以内、短報は5頁以内とする。

詳細については、投稿書式を参照すること。

- 2) 論文には、論文題目、著者名、所属、および連絡先を、日本語および英語で記載した表紙をつける。著者の所属が異なる場合は、氏名の右肩に1), 2), 3) のように記し、所属をその番号順に記載する。
- 3) 論文には、内容の要点が理解できるように800字以内の和文要旨と原著論文には300語以内の英文サマリーを付し、それぞれの下に3～5個のキーワードを記す。
- 4) 論文の構成は、原則として「はじめに（緒言、序論）」「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」「文献」を含む。
- 5) 項目分けの要領としては、「はじめに」「目的」「方法」「結果」「考察」などの表記に続いて、以下の順に使用する。  
1, 2, …, 1), 2), …, (1), (2), …, ①, ②, …
- 6) 図（写真）・表の記載方法については、図（写真）の下に「図1」、表の上に「表1」の番号を付け、A4判用紙1枚ずつに図あるいは表1枚を収めるようにし、本文とは別に一括する。
- 7) 文献は、本文の引用箇所の肩に1), 1, 2), 1-4) などのように番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。
- 8) 文献の記載方法は、下記の例を参考にする。

雑誌の場合は、著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁（最初—最終）、西暦年号の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。文献の省略は公の省略

法に従う。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を書き、以下は・他または et al とする。

[例]

- 1) 小室 透, 間瀬教史・他: 片麻痺の運動時皮膚温変化. 理学療法学18(1):5-11, 1991.
- 2) Hulme JB, Bach BW, et al.: Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68 (1): 26-31, 1988.
- 3) 千野直一: 臨床筋電図・電気診療学入門, 医学書院, 東京, 1977, pp102-104
- 4) Desmedt JE, Godaux E: Progress in Clinical Neurophysiology. (ed. By Desmedt JE), Vol.8, Karger, Basel, 1980, pp215-242
- 5) <http://www.who.int/classifications/icf/site/icftemplate.cfm> (参照 2007-05-19)
6. 英文は、著者の責任で専門家のチェックを受けること。
7. 引用・転載の許可  
原著作物からの引用・転載については、著作権保護のため、原出版社および原作者の許諾を得ること。
8. 投稿書式
  - 1) 用紙はA4判縦で、横書きとし、余白は左25mm, 右40mm, 上30mm, 下25mmとする。
  - 2) 和文は10.5ポイント文字, 1行40字, 30行(1頁1200字), 英文は10ポイント文字, ダブルスペースを標準とする。
  - 3) 句読点は、「 , . 」を用いる。
  - 4) 本文の最下段中央に頁番号を記す。
  - 5) 本文のテキストファイル形式データ, 図表データをフロッピーディスク, CDに保存したものを原稿に添付する。ラベルには、筆頭著者名, 保存ファイル名, フォーマット形式, 使用アプリケーションソフト名を記載する。
  - 6) 原稿提出部数は3部とする(うち2部はコピーで可)。
9. 著作権
  - 1) 本誌に掲載された著作物の著作権(著作権法第27条および第28条を含めた全ての権利)は高知リハビリテーション学院に帰属する。
  - 2) 翻訳・翻案・ダイジェストなどにより二次的著作物を作成して頒布すること, および第三者に転載を許可する権利は高知リハビリテーション学院に帰属する。
  - 3) 当該論文を再利用する場合には, 高知リハビリテーション学院紀要編集委員会まで連絡のこと。
  - 4) 掲載された論文等は, 原則として電子化するものとし, 高知リハビリテーション学院リポジトリにて保存しコンピューターネットワーク上に公開する。

本紙への投稿, 編集や出版に関する問い合わせは, すべて下記宛とします。

高知リハビリテーション学院

紀要編集委員会委員長 山崎 裕司

電話: 088-850-2311

FAX: 088-850-2323

2009年3月  
紀要編集委員会